

平成30年度 教育委員会会議（臨時会）会議録

- 1 日 時 平成30年8月1日（水） 13：06～14：26
- 2 場 所 1号館14階AV1会議室
- 3 出席者 <教育委員会>
長田教育長 山本委員 梶木委員 伊東委員 福田委員 今井委員
<事務局>
川田教育次長 浜本総務部長 山下総合教育センター所長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 19名
- 6 次第
教第21号議案 平成31年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程道徳科教科書の採択の件
報告事項1 事務局職員の人事について
- 7 会議内容

（長田教育長）

それでは、ただいまから教育委員会会議を始めます。

傍聴者の方々には受付で注意事項をお渡しさせていただいておりますが、改めて数点お願い申し上げます。

まず携帯電話については、電源をお切りいただくかマナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

また、みだりに席を離れるなど、会議の妨げとなるような行為は御遠慮ください。

そのほか、傍聴人の注意事項の記載内容をいま一度御確認いただきますようお願いいたします。

本日は議案1件、及び報告事項1件です。

最初に教第21号議案、平成31年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程道徳科教科書の採択の件についてです。

教第21号議案 平成31年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程道徳科教科書の採択の件

（長田教育長）

本日は4月16日の教育委員会会議で承認いただいた採択要領に基づき、採択について審議いたします。

まず初めに、調査研究報告書についての報告をお願いします。

(浦川教科指導担当課長)

それでは事務局から報告させていただきます。

お手元の資料、右肩に①とある、調査研究報告書の20ページ、参考資料1をごらんください。

教科書調査員会は校長1名、主幹教員1名、教諭8名、指導主事1名の計11名で構成されています。

25ページの参考資料5をごらんください。

教科書調査員会は5月10日に第1回を行い、以降4回の調査研究・協議を行い、教育委員会事務局に調査研究結果を報告し、教育委員会事務局がこの調査研究報告書を作成しました。

当初の予定では、記載があるとおりの6月下旬に調査研究報告書を提出、7月13日の教育委員会会議での採択となっていました。その後の事情変更に伴い、7月6日に報告書を提出し、本日採択いただくこととなりました。

9月に情報開示し、調査研究資料等を公開します。当初は9月初旬としていましたが、採択日が約2週間遅くなったため、こちらのほうも9月20日を予定しています。

26ページの参考資料6をごらんください。

道徳教科書、意見等について御説明します。

教科書展示会での意見が36件、郵送による要望書が1件ありました。

27ページの参考資料7をごらんください。

6月15日から14日間、総合教育センターと市内6カ所の図書館において、教科書の法定展示が行われました。今年度は小・中学校、高等学校、特別支援学校の教科書を含め、168名の方に閲覧していただきました。

教科書展示会、及び郵送での道徳科教科書に関する意見等については、先日、委員の皆様にご説明させていただいたところです。

資料2ページから19ページが道徳科教科書に関する調査研究報告書です。

この報告書は5つの観点から取りまとめたもので、先日各教科書について詳しく御説明する機会を委員の方には設けさせていただきました。

本日は時間に限りがありますので、特徴的なところを中心に、改めてお伝えしたいと思います。

また別冊②の資料は文部科学省が作成した教科書目録から道徳科部分を抜粋したものです。教科書の大きさやページ数が示されていますので、こちらもお参考にいただければと思います。

ここまで委員の方から、何か御質問等ありますでしょうか。

ないようですので、続いて審議に移りたいと思います。それでは、各教科書の説明をお願いします。

(中阪総合教育センター指導主事)

それでは、調査研究報告書の記載内容について御報告します。

この調査研究報告書は教科書調査員会から提出された調査研究結果をもとに、教育委員会事務局が取りまとめたものです。

まず概要についてお話しします。

道徳科の授業は、年間35時間の授業時数が定められています。各社とも35教材前後となっており、補充教材を掲載しているところもあります。学習指導要領解説、特別の教科道徳編に記されている道徳科で指導する22の内容項目は全て含まれています。

では、東京書籍から報告させていただきます。

サイズはA B版で、人間としての生き方を考えさせ、生徒に深く考えさせる教材が取り上げられています。

まず1年生の教科書をおあげください。

報告書4ページ、アの3つ目についてです。

附箋の1、8ページ、「1年間で学ぶこと」というページがあります。このページに指導すべき道徳的内容が示されています。

同じく報告書4ページ、アの3つ目についてです。附箋の2です。

「思いやりの日々」という教材です。支援が必要な人が来られたときに、何でもやってしまうのではなく、相手のできることは相手に任すという、支援のあり方を考えさせる工夫がなされています。

報告書4ページ、イの1つ目になります。附箋の3です。

目次のページです。桃色で、いじめのない世界へと、いじめの未然防止に関する教材がはっきりと示され、教員・生徒ともにわかりやすい、そういう工夫がなされています。

次に、2年生の教科書をおあげください。

報告書4ページ、イの3つ目に当たります。附箋の4です。

「私のせいじゃない」という教材です。イラストに力があり、絵をもとにさまざまな形で授業を組み立てる、そういうことができる教材の工夫がなされています。

報告書5ページ、ウの2つ目になります。附箋の5です。

「震災の中で」という教材です。この教材は88、89ページに見開きで阪神・淡路大震災での神戸の写真が載せられています。画像を通じて考えさせる工夫がなされています。

同じく報告書5ページ、ウの2つ目に当たります。附箋の6です。

A c t i o nというページで、このページを通じて役割演技を取り入れた体験的な学習ができる、そういう工夫がなされています。

次に3年生の教科書をお開きください。

報告書5ページ、エの1つ目に当たります。附箋の7です。

P l u sというページがあります。このページは教材で学習した内容を広げ、深めるた

めのコラムとなっています。

報告書 5 ページ、エの 4 つ目に当たります。附箋の 8 です。

「いじめから目をそむけない」というページです。このページの前に置かれた「ある日の午後から」という教材とあわせて、いじめについての記入用のページを用いて学習させる工夫がなされています。

次に、学校図書です。

サイズは A B 版で、中学生の日常的な話題や考えから、未来に向かって進んで行けるように教材を取り上げています。

1 年生の教科書をおとりください。

報告書 6 ページ、アの 1 つ目についてです。附箋の 1 です。

「母の死が教えてくれたこと」は、がんで母を亡くす話です。限りある命、命の有限性を扱った内容で、それゆえに人はどう生きていくかを考えさせる。そういう工夫がなされています。

続いて報告書 6 ページ、アの 3 つ目です。附箋の 2 になります。

「博史のブログ」という教材です。親しみやすい漫画で描かれた自主・自律、自由と責任という指導内容の教材ですが、情報モラルの内容を取り上げた教材となっています。クラスメートの行動をブログに書き込んだことから、思わぬ方向に事態が進んでいってしまうという、そういうことから考えさせる工夫がなされています。

報告書 6 ページ、エの 1 つ目、エの 2 つ目についてです。附箋の 3 になります。

心の扉というページです。教材の後ろに「心の扉」というページが用意され、学習内容を深める工夫がなされています。

次は 2 年生の教科書をおとりください。

報告書 6 ページ、イの 1 つ目についてです。附箋の 4 です。

「傍観者でいいのか」という教材です。いじめだろうかと様子を気にしている段階から、いじめをなくすためにクラスが一步踏み出していくことに気づかせる工夫がなされています。

報告書 6 ページ、ウの 2 つ目についてです。附箋の 5 です。

「私の存在」という教材です。集団の中で自分を見詰めるという教材で、部活動内での出来事を通して、身近な設定であるこのテーマをもとに、集団の一員としての自分の役割を考えさせる工夫がなされています。

3 年生の教科書をおとりください。

報告書 6 ページ、ウの 3 つ目についてです。附箋の 6 です。

「真の国際人—嘉納治五郎—」は、神戸ゆかりの先人として講道館柔道を創始し、近代オリンピックを世界的な大会にしようと尽力された嘉納治五郎氏を取り上げ、郷土の先人に対する関心を抱かせる教材となっています。

報告書 7 ページ、エの 2 つ目についてです。附箋の 7 になります。

教材の最後に、「学びに向かうために」というコーナーが設けられています。ここに意見交換などの授業内での活動内容が示されています。

続いて報告書7ページ、オの3つ目についてです。附箋の8です。

「学びの記録」というページです。このページに各教材で学習したことを記録することができる、そういう工夫がなされています。

次に、教育出版です。

サイズはB5版です。教材の冒頭に学習の方向を示す問いが設定されています。教科書の巻末には、どの学年にも47都道府県にゆかりのある人物の言葉が掲載されています。

では1年生の教科書をおとりください。

報告書8ページ、アの1つ目、イの1つ目についてです。附箋の1です。

「ルールとマナー」というページです。規範意識とともに、いじめや情報モラルを含めた教材になっています。身近な内容から生徒に考えさせる工夫がなされています。

報告書8ページ、アの3つ目、ウの1つ目についてです。附箋の2になります。

「マンションの椅子」という教材で、補助教材です。熊本地震を扱った内容で、震災の中での思いやりの広がり伝え、生徒が共感できる、その内容から考えさせるという工夫がなされています。

2年生の教科書をおとりください。

報告書9ページのエの2つ目についてです。附箋の3になります。

「まるごと好きです」という教材です。まず、まるごと好きになるという文から始まり、力まない言葉で、人との接し方について素直に気づかせる工夫がなされています。

報告書8ページ、エの1つ目です。附箋の4になります。

「やってみよう」というページです。このページが添えられ、考えを深め、グループで話し合ったりする構成になっており、問題解決につなげる工夫がなされています。

報告書8ページ、ウの2つ目、9ページのオの2つ目になります。附箋の5になります。

「風に立つライオン」という教材です。アフリカの自然をとらえた写真により、教材の意味をよりわかりやすくする工夫がなされています。

3年生の教科書をおとりください。

イの3つ目についてです。附箋の6です。

「あなたは顔で差別しますか」という教材です。良性腫瘍ながら顔が腫れるという病気になった人の話で、いじめを乗り越えて前向きに生きる姿を通して、考えを深めさせる工夫がなされています。

報告書8ページ、エの3つ目についてです。附箋の7です。

「校長先生の模擬面接」は、予想していないことに直面したときの対応について考えさせる工夫がなされています。このページの後ろに、「やってみよう」のページがつけられています。

続いて報告書8ページ、エの1つ目です。附箋の8です。

先ほど申し上げた、「やってみよう」のページがこのページです。

教材とともに、このページで問題解決的な学習を体験的に取り扱う工夫がなされています。

では、光村図書に移ります。

サイズはB5版で、生徒の学校生活の進展に合わせて1年間の4つのまとまりに分けた構成でつくられています。

1年生の教科書をおとりください。

報告書10ページ、ウの3つ目についてです。附箋の1です。

「ひまわり」という教材です。この「ひまわり」という教材は、東日本大震災をもとにした教材です。そして阪神・淡路大震災にも関連する「はるかのひまわり」の話につながる内容になっています。

娘さんを失ったお父さんが支援に行った神戸との縁を感じて、はるかのひまわりの種を譲り受けて育てる。そういうことから生命の尊さについて考えさせるという工夫がなされています。

報告書11ページ、エの1つ目になります。附箋の2と附箋の3になります。

附箋の2、「学びのテーマ」というページです。教材の後ろに授業の参考にできるこのページが設けられています。

そして附箋の3です。「COLUMN」という問題解決的な学びを深める工夫がなされたページが添えられています。

報告書11ページ、オの1つ目についてです。附箋の4になります。

教材右上に生命の尊さなど、道徳で指導する内容項目を示し、学習内容がわかりやすくなるよう工夫がなされています。

では2年生の教科書をおとりください。

報告書10ページ、イの1つ目についてです。附箋の5になります。

「いじめといじり」は先ほども出てきた「COLUMN」のページですが、生命尊重や友達関係を見詰め直す視点から、学習を進めることができる工夫がなされています。

報告書10ページ、イの4つ目についてです。附箋の6です。

「明日、みんなを着よう」は、ピンクのシャツを着て登校した男子生徒が、しつこくからかわれたことに反対して起こしたピンクシャツデーの活動で、行動を起こすことの意義を学ばせる工夫がなされています。

では3年生の教科書をおとりください。

報告書10ページ、ウの4つ目です。附箋7になります。

「背番号10」という教材です。新チームのキャプテンとして頑張ろうとしていたところ、右腕を骨折してしまった主人公は野球をやめようと思ったりしますが、父の励ましもあって裏方に徹してチームを支えるということを行いました。そして最後の試合に監督さんから背番号10をいただくという、人の心の温かさに気づかせる工夫がなされた教材です。

報告書10ページ、アの2つ目です。附箋の8になります。

「命の選択」という教材です。祖父の延命措置と尊厳死を考える話であり、生命の尊厳について、さまざまな角度から考えさせる工夫がなされています。

次に日本文教出版に移ります。

サイズはB5版で、生徒一人一人に自分の生き方に自信を持てるようになってほしいと、ともに学び合え、よりよい生き方を見つけられるという、2つのポイントで編集されています。

では1年生の教科書を見てください。

報告書12ページ、アの1つ目についてです。附箋の1です。

「ゆうへー生きていてくれてありがとう」は、阪神・淡路大震災を背景とした教材で、双子の子供のうち、1人を失った母が、命を生かされたゆうちゃんと悲しみを乗り越えて生きていくという話で、命についての考えを深めさせる工夫がなされています。

2年生の教科書をおとりください。

報告書12ページ、イの3つ目についてです。附箋の2、附箋の3になっています。

附箋の2「五月の風—カナ—」、附箋の3「五月の風—ミカ—」は、カナとミカの2人の立場から、いじめについて考えさせる、そういう工夫がなされています。

3年生の教科書をおとりください。

報告書13ページ、ウの4つ目についてです。附箋の4になります。

「エリカ—奇跡の命—」は挿絵がすばらしく、70ページをあけていただくとエリカを救うために、収容所に送られる列車の中から母がエリカを外に放り出すという、そういう場面の挿絵で、あっと驚かされます。

生徒たちの心に迫り、考えさせる工夫がなされています。

報告書13ページ、ウの4つ目です。附箋の5になります。

「ゴリラのまねをした彼女を好きになった」この教材は、職場体験で保育所の子供たちをあやすために、とっさにゴリラのまねをした女子生徒の立場を思いやって、相手を傷つけない素直な言葉かけをした少年の話です。思いやりと勇気の大切さに気づくことができる工夫がなされています。

報告書13ページ、エの1つ目になります。附箋の6、附箋の7になります。

附箋の6「思いを伝えることの難しさ」は、人が手を広げたマークのついたページです。50ページの右下のほうに、紫色で小さなマークがついています。これは動作や演技を通して考えさせる工夫をしたページとなっています。

そして附箋の7「臓器ドナー」という教材ですが、これも同じく右下のほうに黄色とオレンジで電球のマークがつけられたページです。

道徳的な問題をつかんで、解決に向けて考えたり話し合う活動をさせる工夫がなされています。

続いて3年生の道徳ノートです。附箋の8をあけてください。

このページは先ほど見ていただいた「ゴリラのまねをした彼女を好きになった」という教材のページになっています。教科書に対応して、ノートのページが構成されていて、わかりやすいつくりにする工夫がなされています。

学研教育みらいをおとりください。

サイズはA4版になっています。サイズの大きさを生かして、写真や図版などの資料を生かすつくりになっています。

それでは1年生の教科書をおとりください。

報告書14ページ、アの2つ目の内容です。附箋の1です。

「捨て犬・未来」は、東日本大震災での犬の話です。この犬は足首下が切断される虐待も受けている犬です。この犬の飼い主を探すという話です。

防災の観点に加えて、命に対する考え方を見詰め直す工夫がなされています。

2年生の教科書をおとりください。

附箋の2、「旗」という教材です。「旗」は一人一人の持ち寄った布をつなぎあわせて学級旗をつくる話です。学校に登校しにくくなっていた少女が、友人からこの話を聞いて自分の布を提出したところ、旗の真ん中には少女の布が縫い込まれて、友人が登校のきっかけをつくってくれるという話です。

続いて附箋の3です。「ソムチャイ君の笑顔」という教材です。ソムチャイ君はタイからの転校生で、このソムチャイ君を通して周りの生徒たちが次第に大切なことは何かということに気づかされていくという話です。

こうしたタイプの違う教材を用いて、いじめの未然防止につながる工夫がなされています。

3年生の教科書をおとりください。

報告書14ページ、ウの2つ目についてです。附箋の4になります。

「ありがとうの不思議な力」です。この教材は阪神・淡路大震災に関する教材ですが、ありがとうという言葉について、その意味を考えさせる工夫がなされています。

報告書14ページ、ウの3つ目です。附箋の5になります。

「亡き母へのトランペット」は、東日本大震災からの教材です。実話であり、同世代の生徒の話でもあります。生徒の心に響く教材となって、家族愛に気づかせる工夫がなされています。

報告書15ページ、エの1つ目について。附箋の6です。

「深めよう」というページです。このページには問題解決的な学習が示されています。目次にも示され、話し合いや意見交換ができる工夫がなされています。

報告書15ページ、オの2つ目についてです。附箋の7になります。

「さまざまなテーマで学ぼう」というページです。ページの中に、「いじめをなくすために」など、教材のねらいがはっきりと示されています。

報告書15ページ、オの3つ目の内容についてです。附箋の8になります。

「クローズアップ」というページがあり、このページに短文が添えられており、生徒の理解を深める工夫がなされています。

廣濟堂あかつきに移ります。

サイズはA B版で、道徳ノートがつきます。人間のよさを感じさせ、道徳的価値を学ぶためのしっかりした教材が多く掲載されています。

1年生の教科書をおとりください。

報告書16ページ、アの2つ目についてです。附箋の1になります。

「あなたはすごい力で生まれてきた」は母親の立場から語る出産の話で、命についての考えを深める工夫がなされています。

報告書16ページ、アの2つ目についてです。附箋の2です。

「語りかける目」は阪神・淡路大震災を題材とした教材で、母親と死別した子供との出会いからの話です。重い内容ですが大切な教材で、命についての考えを深める工夫がなされています。

2年生の教科書をおとりください。

報告書16ページ、イの2つ目、附箋の3になります。

「君、想像したことある？」は短文ですが、いじめの未然防止に適した教材で、想像から考えさせる、そういう工夫がなされています。

3年生の教科書をおとりください。

報告書16ページ、イの3つ目の内容です。附箋の4になります。

「ピヨ子」という教材です。これは少女がおどけて鳥のひなのまねをして撮った写真がネット上で広まり、ピヨ子と呼ばれ出し、身近な情報モラルの課題を踏まえて、いじめの問題について考えさせる、そういう工夫がなされています。

報告書16ページ、ウの1つ目についてです。附箋の5になります。

「運命の木―姫路城の大柱―」この教材は、兵庫県の副読本にもある教材です。城を支える真つすぐで大きな木を困難の末に探し出して、改修を果たす話です。近畿圏の話であり、生徒が関心を持てる工夫がなされています。

報告書17ページ、エの1つ目についてです。附箋の6になります。

ページ左端に、「考える・話し合う」というページがあります。教材末尾のこのコーナーで、これを手がかりに子供たちを考えさせる工夫がなされています。

附箋の7になります。「thinking」というページが設けられています。このページも用いて考えを深めさせる工夫がなされています。

道徳ノートをおとりください。

附箋の8になります。

「思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深め」という表題の下に、丸印で中学生の道徳⑨、⑱、㉓と示されています。

教科書にある「思いやり、感謝」の教材である3教材に対応したページとなっています。

ノート全体は道徳科で指導する内容項目の順に構成されていて、教材で学習した内容を1つのページにまとめることで、道徳的価値への生徒の考えを深めさせる工夫がなされています。

日本教科書に移ります。

サイズはB5版で、表紙は日本の伝統を表現した写真を使ったものになっています。中学生に、よりよい生き方につながる判断力を育てるために、具体的な生活場面での教材や、人間のよさを感じとれる教材が取り上げられています。

1年生の教科書をおとりください。

報告書18ページ、アの1つ目についてです。附箋の1です。

「過去からのメッセージ」この教材は、祖父の家の土蔵の整理で見つけたアルバムに自分の写真がある。実は祖母の子供のときの写真だったと、命の連続性について考えさせる工夫がなされています。

報告書18ページ、アの1つ目についてです。附箋の2です。

「誰かのために」余命3カ月となった母親が、娘のために最後までお弁当をつくるという話です。命の有限性を考えさせる内容になっています。

報告書18ページ、アの2つ目についてです。

「二枚のチケット」はコンサートに急ぐ主人公が、目と耳が不自由な人に道案内を頼まれ、どうしようかと迷う話です。他者への思いやりと問題解決の視点を考えさせる工夫がなされています。

2年生の教科書をおとりください。

報告書18ページ、ウの2つ目についてです。附箋4になります。

「コンスタンチン君 命のリレー」は実話であり、生命の尊さとともに国際貢献について考えさせる工夫がなされています。

報告書18ページ、ウの3つ目についてです。附箋の5になります。

「パートリーダー」は、合唱コンクールの練習の場面を取り上げた教材で、身近な内容で学校生活での出来事から問題解決を考える工夫がなされています。

3年生の教科書をおとりください。

報告書18ページ、イの3つ目についてです。附箋の6になります。

「いつかは言いたい二度目のごめん」は勇気を出せずにいじめを受け入れてしまった苦い思い出と、それを克服しようと行動することから考えさせる工夫がなされています。

報告書18ページ、エの3つ目についてです。附箋の7になります。

「席を譲ってはいけないのですか」は学校外で出会うさまざまな場面をどのように考えて行動するかを考えさせる工夫がなされています。

報告書18ページ、オの2つ目の内容です。附箋の8をごらんください。

目次のページとなっています。道徳で指導するAからDの内容項目順に教材が配列されており、教員に内容をつかみやすくさせる工夫がなされています。

以上で調査研究の報告を終わります。

(浦川教科指導担当課長)

それでは審議をお願いします。

委員の皆様より御意見・御質問等々、頂戴できますでしょうか。

(伊東委員)

ありがとうございました。きょうも午前中、陸上の大会で中学校の先生とかとお話をする中で、やっぱりこの道徳は非常に難しいというお話をしました。教員年数がまだベテランの方より少ない方に対して、わかりやすいとか配慮されているというような教科書というのはあるのでしょうか。要はわかりやすく丁寧にやってもらったものがあるのでしょうか。

(中阪総合教育センター指導主事)

どの教科書も、課題解決に向けたヒントやプロセスが丁寧に書かれています。またマークをつけてわかりやすくしている教科書であったり、目次に色を変えて表題を示すという会社もあたりという、それぞれの教科書で工夫はなされていますので、あとは学校現場のほうで先輩教員たちのアドバイスも加えて、若手の教員が道徳の授業ができるように育てていくというように、これから我々教育委員会事務局のほうの研修も含めて取り組んでいくという、そういう方向性でいく必要があると思います。

(福田委員)

いじめの問題が今、クローズアップされていますし、いろんな教科書が非常に力を入れてつくられているということがよくわかりますけれども、1年、2年、3年と学年が進行する過程に対して、そのいじめの問題というのを工夫されている教科書というのはあるのでしょうか。

言いたいことはステージが1年、2年、3年と上がっていくと、やっぱり受け取り方とか内容のレベルも変わってくると思います。その辺の工夫というのは教科書の中に入っているのでしょうか。

(中阪総合教育センター指導主事)

おっしゃっていただいたとおりで、学年を経るごとに内容が深まっていくような書きぶりにはなっていきます。

学校のそのときの状況によって、使いたいタイミングが若干異なるかもしれませんが、自主教材も含めてそういつたいじめについての学校の現状、及び子供たちの発達の様子に合わせて、学校としても主体的に使うタイミングを考えたりしていかないといけないと思

っています。そういうアドバイスも研修会等で与えていこうという準備をしています。

いじめについての教材の数ですが、東京書籍さんが1年生から3年生までで9教材、学校図書さんが同じく9教材、教育出版さんが6教材、光村図書さんが6教材、日本文教出版さんが14教材、学研教育みらいさんが15教材、廣済堂あかつきさんが9教材、日本教科書さんが8教材となっています。

(山本委員)

平成30年度教育委員会の指導の重点、この中の授業づくりのポイントとして次のような課題が挙げられているのですが、1つは道德の時間を道德教育の要として確実に実施し充実させることとあります。多忙な現場の中で、道德の時間を確実にという部分で実施できる、またはその助けになるような工夫・手だて、これは各教科書のほうには何かあらわれている部分があるのでしょうか。

(中阪総合教育センター指導主事)

教科書の中にチェックできるような、内容を項目順に並べて、どの内容の部分がまだ授業が行われていないであるとか、点検する方法は十分にあると思っています。

(山本委員)

ありがとうございます。

(浦川教科指導担当課長)

あとは、別冊という工夫をなされている教科書も御紹介等があったとおります。

(今井委員)

教科書の中に幾つか、項目ごとに数値化というか自己評価を数値でチェックというか、色塗りをさせたり、何か自己評価を数値であらわすような教科書も幾つかあって、それはちょっとどうなんだろうというのが、法定展示の市民の御意見から幾つか見受けられたのですが、それはその調査・研究の中では調査員の先生方からどのような御意見が出たのでしょうか。

(中阪総合教育センター指導主事)

調査員会の中では、その件については出なかったんですけど、各図書館でアンケートで出たりしておりますが、ある面、子供たちだけではなく教師の授業の、きょうの授業がうまくいったかどうかを点検することにも役立てるというニュアンスが当然あります。

直接数値で子供たちを評価するわけではありませんので、その数値できょうの教材がどうだったかというようなことを示してもらおうことで、後で授業がどうだったかということ

を教員が確認もできるし、そういう要素も同時にありますので、生徒が数値化したものをそのままスライドして評価にするとということはありません。評価は全て言葉であらわすことになっていますので、その点について調査委員のメンバーから特には意見が出なかった理由です。

(浦川教科指導担当課長)

補足しますと、道徳の評価に関しては、神戸市に限った話ではないのですが、全国的に生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子について、生徒のよさを認め、励ます個人内評価を記述式で行うとされています。

数値評価というのは当然のことながら行わないということです。それを前提にして御検討をお願いしたいと思います。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

(梶木委員)

なかなか8社もあると判断に迷うところもたくさんあって、この教材が、この書き方がいいけれども、これはちょっとな、というところもあつたりするんですけども、8社の中で全て共通して掲載されている教材があれば、それを教えていただけますでしょうか。

その中で、取り扱い方の違いがわかるのであれば、具体的に教えていただけたらと思います。

(中阪総合教育センター指導主事)

8社共通で取り上げられた教材というのは「足袋の季節」という、北海道を舞台にした戦前の話みたいな内容です。

それと「二通の手紙」もしくは「元さんと二通の手紙」という、閉園時間間際に訪れた子供たちを動物園に入れたがために、感謝される手紙をいただいたのと同時に解雇通知を運営側からもらうという内容のもの、2つがあります。

具体的な違いにしますとワークシートが違っていたりとか、非常に説得力のある挿絵とおだやかな挿絵になっていたりとかという違いがあります。

例えば「足袋の季節」ですが、東京書籍は3年生の110ページになります。これはかなりリアルな、すごい説得力のあるイラストが添えられています。

学校図書は3年生、168ページをあけていただくと、こちらはカラーです。少しほのぼのといろんな色もついた形です。教材の内容はちょっと厳しい内容になります。最後に謝りに行こうと思ったら、もうおばあさんが亡くなっていて謝れなかったという話になります。

教育出版さんでいうと、同じく3年生の82ページです。少しほのぼのとしたような感じのイラストになっていたりしています。基本的なストーリーは同じ扱いで載せておられます。

あと違いといえば、その教材をどういう観点で考えさせるかという、立ち位置が若干、会社によって違っていたりします。考えの深め方の道筋に各社の特徴があります。

日本文教出版でいうと、2年生の168ページです。その後の172ページに考えの深め方とか、議論しようとか、そういったページを設けて考えさせると、そういうやり方になっています。

あと、学研の場合でいうと2年生の124ページです。あかつきも2年生の131ページ、光村は3年生の48ページ、日本教科書は2年生の181ページです。

若干書きぶりが違うところは、例えば光村の場合で言いますと、「年をとったせいかな」という部分の言葉を抜いています。

(浦川教科指導担当課長)

共通の教材ですと比較はしやすいと思います。例えば掲載されている学年が違うだとか、体裁の違いとか、あとはそれぞれの学習を振り返るといいますか、深め方、そういったところに違いがあるかと思います。

(今井委員)

こうやって並べてみると、本当に同じ教材の扱い方の違いがわかります。例えば光村さんとかでしたら、この学びのテーマのページで、考える観点と見方を変えてということ、ほかの教科書は大体この男の子——本人の気持ちのほうのつかみ方が中心ですけれども、光村さんの教科書では、おばあさんはどんな気持ちだったか、おばあさんだったらどうしただろうみたいな、どう言っただろうとか、おばあさんの視点みたいなもの考える、テーマを与えてくれるというのがありますが、そのあたりはどうですか。多角的に見られることとか、見たり考えたりする要素に持っていくというのも、私はいいように思うのですけれども、そのあたりはどうですか。

(中阪総合教育センター指導主事)

それも1つの方法ではあるのですけれども、一般的にはいろいろな立場を変えてやると、子供たちの考えがなかなかまとまらないので、この主人公の立場で考えていく、主人公を中心に考えるような指導の展開をするのが基本になっています。

もちろんより深めるために、そういう発問をするということも教師の判断で行うことがあると思います。

(長田教育長)

ほかに御意見や御質問はございませんか。

(山本委員)

この特別の教科道徳という形で、ことしから小学校のほうがスタートしていますけれども、学習を進めていくキーワードの中に、考える道徳とか議論する道徳というようなキーワードがたくさん出てくるのですが、そういったことを考えながら、これから議論しながら意見をまとめていくとか、自分の考えをまとめる際に、やっぱりこれは別冊のノートがあったり、それからもし先生が、いわゆるワークシート等を配ったりとか、いろんな捉え方の中で記録のあり方はあるのだろうなと思いますけれども、例えば小学校では一足先に別冊ノートを取り入れていますけれども、この使用状況などは今はどんな状況なのか、もしその評価があれば教えていただけたらと思います。

(渡邊総合教育センター指導主事)

小学校の道徳ですけれども、この1学期、授業を進める中で、実際に別冊ノートを現在は使っていますが、その別冊ノートを効果的に活用して書きためていく、自分の心の成長というか、自分の考えたことを書きためていくというような活動をしています。

授業の中でどうしても時間が足りなくて、最後自分を振り返る時間がなかなかないというようなこともあったのですが、やはり道徳科としてスタートする段階で、そのあたりについて自分の考えていたこと、感じていたことを振り返る時間を確実にとるという面でも、その授業の改善という点でも進んできているようには感じています。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかにございませんでしょうか。

もしほかに御意見や御質問がなければ投票に入りたいと思いますが、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

それでは、これから投票を行います。

投票の結果、過半数の4票を得票した教科書があった場合は、その教科書を採択します。

3票ずつ同数の場合は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、教育長である私の決するところとします。

その他の場合で、過半数を得票した教科書がなかった場合は、得票のあった教科書につ

いて再度協議させていただきたいと思います。

それでは、これから投票用紙をお渡ししますので、最適と思われる教科書に丸印をおつけください。

職員が後ほど回収に参ります。

(教育長、教育委員投票)

(長田教育長)

それでは、発表します。

光村図書出版さんが1票、日本文教出版さんが4票、廣済堂あかつきさんが1票ということですので、4票の過半数を獲得した日本文教出版さんを選挙することとします。

以上で、教第21号議案、平成31年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程道徳科教科書の採択の件についての審議を終わります。

報告事項 1 事務局職員の人事について

(長田教育長)

続いて、報告事項1、事務局職員の人事についてです。

こちらは本日8月1日付で発令しました教育委員会事務局職員の人事に関する件について、教育長に委任する事務等に関する規則第6条の規定に基づき、教育長により代理しましたので報告するものです。

組織改革担当として、今日付で課長級職員1名が増員となりましたので紹介します。

組織改革担当課長の吉田です。

(吉田組織改革担当課長)

組織改革担当課長に着任しました吉田と申します。よろしくお願いいたします。

(長田教育長)

何か御質問はございませんか。

(梶木委員)

前はどちらにおられたのですか。

(吉田組織改革担当課長)

以前は、神戸市道路公社の総務課長を2年半ほどやっていました。

(長田教育長)

教育委員会事務局は初めてですか。

(吉田組織改革担当課長)

初めてです。

(長田教育長)

委員の先生方、どうぞよろしく申し上げます。

この際、何か御意見なり御報告等がありましたらお願いしたいと思いますがよろしいですか。

それではきょうの教育委員会会議はこれで終わりとさせていただきます。お疲れさまでした。

閉会：午後 2 時 26 分